

オウム対策住民協議会ニュース

烏山地域オウム
真理教(現アレフ)
対策住民協議会

世田谷区全域に配布

この「オウム対策住民協議会ニュース」は、オウムの烏山地域進出に対し反対をする住民協議会が、地域の方々にオウム問題の現状を知っていただくために月1回烏山地域に新聞折込をしております。しかし、オウム問題は烏山だけの問題ではなく世田谷区全域の問題と考え、年に2回程度世田谷区全域に新聞折込で配布し、広くご理解とご協力をお願いするものです。



公安調査庁に 「観察処分」延長 の要請行動

オウム対策住民協議会の5月から始めた「観察処分」延長の署名33、763名と世田谷区町会総連合会署名4、773名を持って、住民協議会から倉本会長をはじめ6名、町総連安田会長、区議会から1名、区からは収入役をはじめ5名、計12名が参加しました。はじめに公安調査庁へ行き町田幸雄長官にお会いして倉本会長が要望書を読み上げたのち、署名簿と要望書を手渡しました。町田長官からは、「現地を見に行つてオウムの本部となっている状態は困つたと思う。」



町田長官に要望書を手渡す倉本会長

審査会に報告して全力で努力して行きたい。」とコメントをいただきました。続いて公安審査委員会へも要請を行い、事務局長に要望書を手渡ししました。

多くの皆さんのご協力で集められた署名は、住民協議会の私たちにとっては本当に大きな力となりました。この「観察処分」が延長されて、オウムを増長させないための監視が続けられますように願っています。ご協力心から感謝し、これからもオウム反対運動へのお力添えをお願いいたします。

烏山オウム(現アレフ)問題のあらまし

オウム問題は全国29の市町村等で同じ悩みを抱えている。烏山の問題が特異なのは、マンションの大家がオウム信者を連れて来て、契約を結んでいるということである。そのためオウム信者は5年間居住することになる。現在、道場と上祐代表が住むGSハイム烏山と道を挟んで2棟ある第1、第2サンサンマンションには住民登録しているだけで72名、その他合計で約100名が住む。実質オウム真理教の本部となっている。

住民票不受理裁判を経て、オウムは完全に元に戻ってきている。上祐代表が今年の夏季セミナーで麻原に代わり、信者にホーリーネームを与え、大金を取りイニシエーションを行い始めた。

オウム側は「我々は修行を行っているのであり、今後犯罪を犯すことなどありえない」と言っている。教団は新しい信者を獲得し教団の強化を図りたいところだが、新しい信者を獲得する事自体が問題なのだ。自分の住んでいる地域で、もしオウム信者が自分の家に

勧誘に来たらどうしますか?これは身近な問題なのです。

住民協議会は13年6月以降月1回のニュースを発行するとともに、オウム問題の学習会を3ヶ月に1回のペースで講師を呼び烏山区民センターホールで行っている。

住民協議会が立ち上がったから反対のための署名運動と募金活動を、地域の方々、諸団体をお願いして、また地域のイベントに合わせて行ってきた。その募金は活動の原資となっている。



「烏山地域オウム真理教(現アレフ)対策住民協議会」 主な活動経過

- 00年12月19日
 - ・オウム信者世田谷区へ転入届の提出13名。
- 00年12月26日
 - ・オウム対策烏山住民協議会立ち上げ。
- 01年1月9日
 - ・「烏山地域オウム真理教(現アレフ)対策住民協議会」設立、決起集会700名参加。
- 01年1月11日
 - ・街頭署名活動開始。
- 01年1月23日
 - ・都議会、都知事要請行動。
- 01年1月25日
 - ・上祐他10名、烏山に転入。
 - ・官房長官に要請行動。
- 01年2月25日
 - ・「オウム対策かわら版」発行。
- 01年3月4日
 - ・第1回学習会「オウム信者の心と社会・行政」講演 滝本太郎弁護士。
- 01年3月9日
 - ・監視小屋設置、住民協議会が当番制で毎日監視。
- 01年4月30日
 - ・第2回学習会「龍ヶ崎市の話を聞こう」
 - ・抗議デモ、学習会400名参加。
- 01年8月12日
 - ・第3回学習会「子供をオウムに取られて」講演 オウム真理教家族の会 永岡弘行氏。
 - ・抗議デモ、学習会500名参加。
- 01年11月15日
 - ・第4回学習会「アレフなら安全か」講演 有田芳生氏。
 - ・抗議デモ、学習会600名参加。
- 01年12月3日
 - ・164,000人の署名を持って総理大臣小泉純一郎に要請に行く。
- 02年3月14日
 - ・第5回学習会「私たちのこの一年間を語ろう」500名参加。コーディネーター江川紹子氏。
- 02年5月3日
 - ・オウム真理教集中セミナーへ抗議行動、脱会呼びかけのビラ配布。
- 02年5月31日
 - ・「オウム真理教対策関係市町村連絡会総決起大会」に参加。
 - ・松戸市、流山市オウム対策協議会と交流。
- 02年7月19日
 - ・区幹部職員と共に各政党本部に要請行動。
- 02年7月30日
 - ・自由民主党 政務調査会 法務部会の要請により事情説明。
- 02年9月3日
 - ・公安調査庁、公安審査委員会へ要請行動。

オウム(現アレフ)居住状況

GS
ハイム
鳥山

507						
407 一般居住者	3F～5Fは分譲					
307						
207	206 パソコン 修理	205 音楽室	204	203	202 一般居住者	201 上祐居住
大家住居	オウム事務所 調理室		103 30畳道場	102 30畳道場	101 60畳大道場	

オウム使用

一般居住者

大家使用分

オウム真理教(現アレフ)の専有する部屋は36室で、居住する信者は約100名を越えようとしている。主要な中央部署を移し、実質的な団体本部となっている。

同じマンションに住む人は、オウムの人たちは「何号室に誰が住んでいる」と固定していないみたいで、個人個人の修行の仕方があるそうでバラバラみたいなのです。麻原のビデオは日常的に見ています。入居当時オウムとの話合いのときに、「サマナ服は着ない、ヘッドギヤはつけない」と約束したのに今では普通にサマナ服を着て歩いています。臭いのことは、道場付近でカレー粉が腐ったような臭いがする。何だと聞いてもなかなか本当のことを言ってくれないと話しています。

←鳥山駅方面

甲州街道方面→

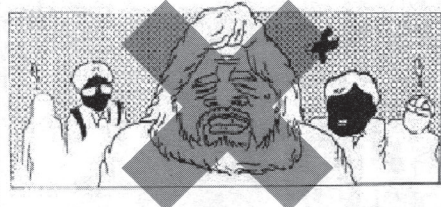
104 被服班	103 音楽室	102 法務部	101 映像制作
204 デザイン室	203 広報部	202 機関紙編集	201 一般居住者
304	303	302	301

第2サンサンマンション

101	102	103	104
201	202	203	204
301	302	303	304

第1サンサンマンション

私たちは「オウム」を許さない!



オウムの集団居住・拡大を阻止するために!
これ以上被害者を増やさないために!
平穏な市民生活を取り戻すために!

私たちは、この鳥山地域を
オウムの魔の手から守るために闘い続けます。

鳥山地域オウム真理教(現アレフ)対策住民協議会

このステッカーは皆様からの募金によって作られています。

「オウム反対ステッカー」完成間近

この度、鳥山地域オウム真理教(現アレフ)対策住民協議会は、オウム真理教に対して、その活動を拒否する姿勢を明らかにする目的で、ステッカーを作成します。

仕様は、B5判・カラー4色刷り、粘着シート仕上げで、1000枚を作成し10月中に完成する予定です。諸団体を通じて配布致しますので、各戸・店頭など目に付く場所に掲示して下さい。

このステッカーは、オウムに反対する、鳥山地域住民の明確な意思表示です。皆様のご理解とご協力をお願い致します。

尚、このステッカーは皆様からの募金によって作成されます。

第6回学習会 「なぜオウムと暮らせないか」

「オウムの修行の正体とは・・・」

11月16日(土) PM6:30



山根 二郎 氏

講師 山根 二郎氏 (弁護士)

山根二郎 (やまねじろう)
1936年東京生まれ。1966年東京で弁護士登録。1996年カルト教団の宗教施設建設計画阻止のため地域住民を指導し、代理人として建設差止の調停を申立てるなどして撃退に成功。1995年オウム事件を契機に執筆を開始、膨大な資料を徹底的に探索・検証し、根元的な思索と精神の激闘の末、思想を確立。

- ・場 所
鳥山区民センターホール
- ・開 場
PM6:00
- ・開 演
PM6:30

協議会ホームページアドレス <http://www.kyogikai.jp>

この協議会ニュースは、皆様の募金により発行されています。